

未来に伝える 山形の宝



「未来に伝える山形の宝」登録制度とは

「未来に伝える山形の宝」登録制度は、地域にのこる有形・無形の共通するテーマで結び付いた複数の文化財(山形の宝)を保存・活用する取組みを、「未来に伝える山形の宝」として登録・推進することで、文化財の保護を図るとともに、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域活性化や新たな交流の拡大につなげていくことを目的としています。

●重点テーマ(最上川の文化遺産)

最上川の文化的景観、自然的特性、歴史的・文化的特性を活かした取組み

●推奨テーマ

地域の自然及び歴史・文化の特徴や魅力を活かした取組み

登録番号

2

重点

H25登録
(朝日町)

最上川・五百川郷の宝物がたり

エリア：朝日町内全域

団体名：NPO法人朝日町エコミュージアム協会

朝日町を流れる最上川に沿った地域は古くから「五百川郷」と呼ばれ、最上川が形成した河岸段丘上には、先史時代からの山・川の恵みに育まれた人々の生活や、湧水や河川からの導水により農業を興してきた歴史があります。また、五百川峡谷に沿った陸路や江戸時代以降の最上川舟運によって、米沢藩の物資などが遠く酒田まで運ばれていた歴史を背景に、数多くの歴史的・文化的遺産が存在しています。



旧西五百川小学校三分校
【県指定有形文化財】



佐竹家住宅
【国指定重要文化財】

私たちが
案内します

朝日町エコミュージアム案内人の会 電話:0237-67-2128

【アクセス】JR左沢線左沢駅から車で約25分

【問合せ先】NPO法人朝日町エコミュージアム協会 電話:0237-67-2128

登録番号

3

重点

H25登録
(大江町)

最上川の流通・往来及び左沢町場の景観



エリア：左沢町場地区、楯山地区、最上川地区

団体名：大江町

最上川舟運の河岸として発展してきた左沢には、最上川などの自然環境と、左沢楯山城跡や小漆川城跡が物語る政治的拠点としての歴史があり、舟運や農山村との流通・往来に根ざした生活・生業が有機的に結びついて、複合的・重層的な文化的景観が形成されています。平成25年3月27日、県内初の重要文化的景観として選定されました。



原町通り



最上川と旧最上橋、楯山

私たちが
案内します

大江町観光ボランティアガイドの会 舟唄の里案内人
(大江町政策推進課観光係内) 電話:0237-62-2139

【アクセス】(左沢楯山城跡)JR左沢線左沢駅から徒歩約20分(約1.5km)

【問合せ先】大江町教育委員会教育文化課 電話:0237-62-3666

登録番号

7

重点

H28登録
(中山町)

最上川が運んだ文化と黒塀の豪農屋敷群

エリア：中山町岡地内

団体名：黒塀のまちなみ保存活用協議会

江戸時代、元禄の頃まで最上川を航行する大船の終着河岸は中山町長崎まででした。そのため、中山町内には、いまも最上川舟運の歴史や文化的景観が多く残っています。中でも岡地区は、山形県指定有形文化財「旧柏倉家住宅」を中心とした屋敷群と総延長約1,000mにも及ぶ黒塀があり、美しい景観を形成しています。柏倉家は地主経営のほか、当時、村山地域

最多の紅花生産量を誇り、最上川舟運で上方とつながっていたことが、多くの美術工芸品、ひな人形、築山庭園などから、当時の様子をうかがい知ることができます。

最上川舟運により栄えた黒塀の豪農屋敷群の景観、当時の様子を伝える古文書や雛人形、紅花栽培等を後世に伝えていく活動をしています。



黒塀のまちなみ



柏倉九左衛門家の雛飾り

私たちが
案内します

教育課生涯学習グループ「黒塀のまちなみ保存活用協議会」担当
電話：023-662-2235

【アクセス】JR左沢線羽前長崎駅から車で約5分

【問合せ先】黒塀のまちなみ保存活用協議会(事務局)
電話:023-662-2235(中山町中央公民館内)

村山地域

Murayama Area